

OUJ神奈川学習センター はるだより

通巻第78号

2019年5月10日発行

発行: 放送大学神奈川学習センター

〒232-8510 横浜市南区大岡2-31-1

URL: <http://www.sc.ouj.ac.jp/center/kanagawa/>

tel: 045-710-1910 fax: 045-710-1914



学位記授与式で祝辞を送る佐業同窓会連合会会長(4ページに関連記事)

目次	エリクソンのアイデンティティに関する研究 客員教授 高木 秀明	2~3
	平成30年度学位記授与式	4
	平成31年度1学期入学者の集い	5
	神奈川県立国際言語文化アカデミアと放送大学の連携講座	6
	春のフェスタ	6
	平成31年度神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧	7~8
	Kーサポートからのお知らせ	8
	Kーサポート活動紹介	9
	学生サークルからのお知らせ/同窓会だより	10~11
	神奈川学習センターからのお知らせ	12

神奈川(みなとみらい)



エリクソンのアイデンティティに関する研究

客員教授 高木 秀明

私は青年心理学を専門として研究してきました。青年心理学における重要な研究にエリクソン(E. H. Erikson)のアイデンティティ(Identity)に関する研究があります。これはエリクソンの人間の発達に関する心理社会的発達理論(表1)の一部を構成しています。

自己のアイデンティティとは自分が何者であるかということです(身分証明書のことを英語でidentity cardといいます)。それは生まれてから作られてきた様々な自分の中から、自分自身で自分の一面であると認めてきたものや社会から認められてきたものによって構成されます。

青年期になると自我が発達し、自己のアイデンティティへの関心が高まり、自分探しのためにいろいろな活動や役割に挑戦する傾向が増大

感じることもできます。自己の存在に意義が与えられ、自分の進むべき方向が明らかになり、自分なりの考え方や価値観、人生観、人生目標を持ち、自分の人生に対して責任を負うことができるようになります。

マーシア(J. E. Marcia)はアイデンティティ達成の程度を、職業、政治、宗教の3つの領域における危機の有無と傾倒の有無によって、4つの地位に分類する方法を開発しています。危機とは「その人にとって意味のあるいくつかの可能性について迷い、決定しようと苦闘した(している)時期」であり、傾倒とは「自分自身の信念を明確に表現したり、それに基づいて行動したりすること」です。これらの基準によって、表2のように4つの地位が決定されます。

アイデンティティ達成地位の人は、過去に危機を経験し、現在はその危機を克服して、選択した対象に傾倒しています。モラトリアム地位の

人は、現在、危機の最中であり、系統の対象を模索しています。早期完了地位の人は、過去に危機を経験しておらず、親や社会の承認する対象を受け入れ、現在その対象に傾倒しています。アイデンティティ拡散地位の人は、過去の

表1 エリクソンの心理社会的発達理論 (Erikson, 1997)

発達段階	心理社会的危機	基本的力
乳児期 Infancy	基本的信頼 対 基本的不信 Basic Trust vs. Basic Mistrust	希望 Hope
幼児期初期 Early Childhood	自律性 対 恥、疑惑 Autonomy vs. Shame, Doubt	意志 Will
遊戯期 Play Age	自発性 対 罪悪感 Initiative vs. Guilt	目的 Purpose
学童期 School Age	勤勉性 対 劣等感 Industry vs. Inferiority	有能性 Competence
青年期 Adolescence	アイデンティティ 対 アイデンティティ拡散 Identity vs. Identity Confusion	忠誠 Fidelity
成人期初期 Young Adulthood	親密性 対 孤立 Intimacy vs. Isolation	愛 Love
成人期 Adulthood	生殖性 対 停滞 Generativity vs. Stagnation	世話 Care
老年期 Old Age	統合 対 絶望 Integrity vs. Despair	英知 Wisdom

します。表1に示されているように自己のアイデンティティの達成という問題は青年期の心理社会的危機として現れます。アイデンティティが達成されると、時間的(小さい時の自分と今の自分、等)・空間的(家での自分と学校での自分、等)な自己の一貫性と連続性を感じることができ、そのような自分が社会から承認されていると



表2 マーシアのアイデンティティ地位 (Marcia, 1966)

地位	危機	傾倒
アイデンティティ達成	あり	あり
モラトリアム	最中	模索中
早期完了	なし	あり
アイデンティティ拡散	あり又はなし	なし

人は、現在、危機の最中であり、系統の対象を模索しています。早期完了地位の人は、過去に危機を経験しておらず、親や社会の承認する対象を受け入れ、現在その対象に傾倒しています。アイデンティティ拡散地位の人は、過去の

危機の有無にかかわらず、現在、傾倒するものを持っていません。

アイデンティティが拡散した人の特徴であるアイデンティティ拡散症候群として、エリクソンは以下の内容を挙げています。

- 1 アイデンティティ意識の過剰:自己意識にとられすぎて、自分を見失ってしまう。
- 2 選択の回避と麻痺:自己全能感や無限の自己を幻想し、自己を有限にする一切の選択や決断ができなくなる。
- 3 対人的距離の失調:他人との間に適切な距離がとれず、相手に甘えすぎたり、孤立し、引きこもってしまったりする。
- 4 時間的展望の拡散:時間への信頼を失い、そのために、好機の到来を待ったり、将来を展望したりできなくなる。
- 5 勤勉さの拡散:仕事や勉強が手につか

なくなったり、逆に、一つの仕事に自己破壊的に没入したりしてしまう。

- 6 否定的アイデンティティの選択:暴走族や非行集団に入るなどして、社会から否定される役割や仕事、価値観を受け入れる。

エリクソンの心理社会的発達理論では、各発達段階において心理社会的危機が存在し、順調に発達するためには各発達段階の危機を乗り越えることが重要であるとされています。危機を乗り越えると、危機の欄に書かれている対の左側の特徴の方が右側に書かれている特徴よりも多く獲得され、右端の欄に書かれている人間としての基本的力を持てるようになるとされます。私たちの発達を理解する上でとても役に立つ理論であると言えます。

神奈川学習センター客員教授の異動について

2019年4月1日付けで、神奈川学習センター客員教授の異動がありました。

- ・2019年3月31日付けで退任された客員教授の先生
有馬 眞 先生 (地球科学、岩石学、地質学)
大重 賢治 先生 (疫学、予防医学、社会医学)
杉田 正樹 先生 (哲学、環境倫理)
角 洋一 先生 (船舶海洋工学、破壊の数理)
高木 純一郎 先生 (加工学、精密工学)
種田 保穂 先生 (動物学、発生生物学)
林部 英雄 先生 (発達言語心理学)
山田 俊治 先生 (日本近代文学研究、日本十九世紀文化研究)
- ・2019年4月1日付けで新たに就任された客員教授の先生
木村 昌彦 先生 (柔道、体育科学、体力科学)
白水 紀子 先生 (中国近現代文学、ジェンダー研究)
富岡 幸一郎 先生 (近現代文学・哲学・思想、キリスト教神学)
廣田 全男 先生 (地方自治論、憲法学)

平成30年度学位記授与式

3月23日(土)渋谷のNHKホールで、平成30年度の学位記授与式が行われました。式では、現在、同窓会連合会会長をつとめている神奈川同窓会会長の佐栞慎二氏の祝辞、式の終わりには、学位記授与式としては初めて、学歌と交響曲第九合唱が行われ



ました。式終了後は、ハイアットリージェンシー東京に会場を移し祝賀会が開かれました。神奈川学習センターからは、多くの卒業・修了生の参加があり、卒業までの道程や卒業の喜びを語りあっていました。

学位記授与式に先立つ3月16日(土)、神奈川学習センターでは、卒業生の集いが開催されました。

所長挨拶では、福富所長が、「平成の時代(平成17年)中央教育審議会から『21世紀は知識基盤社会になり大学はそれを支える人材を育成せねばならない』という方針が示された。知識基盤社会の特質が4点があり、1. 知識には国境がなくグローバル化が一層進む。2. 知識は日進月歩であり競争と技術革新が絶え間なく生まれる。

3. 知識の進展は旧来のパラダイムの転換を伴うことが多く、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断が一層重要になる。4. 性別や年齢を問わず参画することが促進をされる。

現在では、いずれも実感をもって受け入れることができるのではないかと。



新しく作り出される価値にどのように対処してゆくか私達にとって大きな課題と思う、そして、これまでの科学技術がもたらした問題を解決することも求められている。

材料工学では、常に高性能の材料が求められてきた。最近、新しい材料ではなく性能は劣っても既存の材料を循環して使う方向に技術転換するべきではないかとの方向で国際的な標準化の動きが出ている。何に技術の価値を見いだすのかが問われている。これからは、幅広い知識と柔軟な思考力に基づく判断が一層重要になる。このための学びに終わりが無い。」と話されました。

つづいて、来賓の佐栞同窓会長の祝辞、客員教授祝辞、所長表彰と名誉学生の紹介、学歌と第九の合唱がありました。式終了後は、同窓会主催の茶話会が開催され参加者は、和やかな雰囲気の中、語りあっていました。なお、神奈川学習センターの卒業生は、247名(学部222名、院27名)卒業生の集いの出席者は45名でした。



名誉学生になられた方の紹介

2018年度、神奈川学習センターでは第1学期卒業、第2学期卒業を合わせて、次の7名の方が名誉学生となりました。

疋田 勝三郎 さん
石丸 迪子 さん
櫛田 政五郎 さん
杉山 秀雄 さん
瀬戸 昇 さん
村川 勝巳 さん
吉浜 克洋 さん



みなさん、おめでとうございます。

本誌では、所長表彰の成績優秀者の竹内礼子さんより寄稿いただきましたので、ここに掲載します。



私は6年前の春、心理学の基礎を学びたくて選科履修生になりました。とりあえずの目標は2年間でエキスパートを取得すること。それだけを考えて私の学生生活は始まりました。そして着実に単位を積み重ね、当初の目標クリアがほぼ確実になった時に、卒業してみたいという気持ちが湧き、3年次に入学しました。

そして、当時の卒業要件では外国語の単位を取得する必要がありました。そこで「英文法A to Z」の放送・面接両方を履修することにしました。履修前は過去問20問中5問正解という惨憺たるものでした。しかし、頑張った甲斐があって試験の結果はかなりよかったです。そして、このことは私の転機になりました。自信をもたらしました。そして、学ぶことは楽しいと初めて知りました。

その後、「初歩からの数学」を履修した時も、テキストの式の展開が理解出来ず、その箇所を3日間考えたことも度々ありました。通信指導が10問中4問しか正解しなかった科目もありました。しかし、

不思議なもので苦勞した科目はみな成績がよかったです。

外国語の単位を取得した翌年、新カリキュラムに移行となりました。あと1年入学が遅ければ、私には外国語の単位は必要はなかったもので、あの転機は訪れなかったのではないかと考えています。

私は今、2回目の卒業をします。1回目の卒業を目前に控えた時、10代の頃にこれだけ勉強していれば、私の人生は変わったものになったのではないかと考えたこともありました。10代の頃、勉強は好きでも嫌いでもなく、「させられている」ものでした。それは楽しいものとはほど遠いものでした。

「勉強したい」と思った時が、その人にとっての旬。それは何歳になっても。解らないことをずっと考えられる時間があるのは、なんて贅沢なことだろう。「させられる」勉強は退屈でつまらないけれど、「する」勉強はなんて楽しんだろう。その事に気づけて人生が豊かになりました。そして、学べる環境があることに感謝しています。

平成31年度1学期入学者の集い

4月7日(日)神奈川学習センターにて、平成31年度1学期「入学者の集い」が開催されました。

神奈川学習センターの入学者は、1,451名。会場には、このうち230名が集いました。

前年度より、30分早い12時30分に始まり、DVDによる來生学長の挨拶、福富所長の式辞、來賓の佐葉神奈川同窓会会長祝辞。客員教授紹介では、紹介と同時にそれぞれに、お祝いの言



葉と入学者に向けたメッセージが語られていました。合唱団による学歌などのお祝いの合唱、休憩を挟み、学習センター事務によるオリエンテーション、K-サポートやサークルの紹介へと続きました。

桜が咲きほこる行楽日和にかかわらず、会場は、臨時席を設けるほどの超満員。みなさん熱心に話に聞き入っていました。



神奈川県立国際言語文化アカデミアと放送大学の連携講座

3月10日(日)横浜市栄区の神奈川県立国際言語文化アカデミアで、国際言語文化アカデミア・放送大学神奈川学習センター連携公開講座が開催された。



テーマは、「異文化との出会い」、第一部は、放送大学神奈川学習センター客員教授の大戸安弘先生による講演「日本の近代化と教育－西洋の教育情報をどのように受容したのか－」。日本の近代化政策として、西洋から導入した公教育制度が創設されたが、古くから外来文化に寛容で、外来文化を取り入れ融合、独自の文化をつくってゆくのうまく、西洋化以前の高い教育水準もあり、現代に続いてゆく教育システムが作られた。また、現在でも残る学校唱歌や各種の儀式は、キリスト教の儀式を取り入れたのではないか、というお話だった。

第二部は、県立国際言語文化アカデミア准教授の飯田深雪先生による講演「西洋の日本人論から考

る異文化理解」。西洋の日本人論から考える異文化理解は、明治時代のバジル・ホール・チェンバレン、パーシヴァル・ローウェル、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の著作から、彼らの日本人論、日本人観を比較しながら、いずれも日本人について鋭い考察が見られる反面、日本人と日本の文化について受容できず否定的に捉えるものと受け入れて肯定的に捉えるものがあり、どのようにしたらよりよく異文化を理解して行けるかについて考察した。

日本の近代化を異文化理解の視点で捉えた興味深い講座でした。森有礼初代文部大臣の話でも2つの講演の時代的な繋がりを感じた。



左から、大久保 博 国際言語文化アカデミア所長、大戸 安弘 客員教授、飯田 深雪 准教授、福富 洋志 神奈川学習センター所長

春のフェスタ

2月16日(土)神奈川サークル協議会主催の春のフェスタが開催されました。特別記念講演会として、トップクラスの人気を誇る放送授業「問題解決の進め方」の主任講師をつとめた遠山紘司客員教授の講演「100歳時代の問題解決－準備と過ごし方」。開学準備の1984年から今年までから35年間、専任教員、客員教員として放送大学の学びにたずさわってきた先生の神奈川学習センター最終講義の意味も込め、サークル協議会がお招きしました。



講演は、ご自身の定年の実体験を踏まえて、定年

で何が変わるか？定年後の生きがいの見つけ方など、多岐にわたる問題解決を丁寧に解説されていま

た。遠山先生の著書「もっと知りたい! 定年の楽しみ方」2017年学文社刊のダイジェスト版とも言える内容でした。定員110人の講義室で立ち見が出るほどの参加者があり、盛況な催しとなりました。



特別講演に続いて、茂木ゼミナール音楽会。茂木一衛先生の指揮、ご夫人の茂木恭子先生のピアノ、岡部元学長をはじめ、文京学習センターや埼玉学習センターの茂木ゼミからの学生も参加。器楽の演奏、合唱とピアノの演奏、後半には、神奈川学習センターのダンスサークルとの共演もあり、こちらも立ち見が出る大盛況となりました。



平成31年度 神奈川学習センター開講ゼミ・研究会一覧

●神奈川学習センター客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
上川 孝夫	上川ゼミ	金融や国際金融を中心に、経済学を学ぶゼミです。一見難しそうな学問ですが、基礎を重視しながら、幅広いテーマを取り上げます。また、日本銀行や東京証券取引所の見学なども予定しています。	基本的に 毎月 第3土曜日	4/20、 5/18、6/15	kamikawa@ynu.ac.jp	所 外 有
高橋 邦年	英語基礎 ゼミナール	毎回3時間(休憩10分)の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行う。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。	基本的に 毎月 第2土曜日 または 第3土曜日	4/13、 5/11、6/15	takahak18@gmail.com	
茂木 一衛	茂木ゼミ	主にヨーロッパの芸術音楽について、歌唱、演奏、鑑賞の活動を通して学習・理解し親しみます。	基本的に 毎月 木曜日1回 日曜日1回	4/11、 4/28、 5/23、 5/26、6/2、 6/27	kmoteki@nifty.com	所 外 有

●本部客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
遠山 紘司	遠山ゼミ	「物事をまとめる力、発表する力、討論する力」を身に付けることを目的としたゼミです。ゼミ担当者は自分が興味ある問題を探し、解決するまでの過程を考えて発表します。その後、参加者全員で問題の捉え方、解決策について討論します。ゼミの担当は1年に1回程度です。	基本的に 毎月 第3木曜日 (9月まで)	4/18、5/9、 6/20	kmymt@olive.ocn.ne.jp	

●元客員教授開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
浅野 幸弘	浅野ゼミ	経済・金融・証券投資の本をテキストに、ゼミ生が順に内容を纏めて報告、その後全員でディスカッションする。2019年度はテキストとしてフェリックス・マーティン「21世紀の貨幣論」を使用する。	基本的に 毎月 第2木曜日	4/11、5/9、 6/13、7/11	asano-yukihiro-rc@ynu.ac.jp	
影井 清一郎	科学の散歩道研究会	①身近な物理・生命・社会等の現象を数学・物理学・工学など自然科学の切り口で、自由闊達に議論・討論する。 これらの過程で有用な事項は各自の探求テーマ発掘に活用すると共に、学向上、論文作成等に反映させる。 ②放送大学の授業内容(科学分野)の理解を深めるため、意見交換を行う。	基本的に 毎月 第3土曜日	4/6、4/20、 5/18	kagei@ynu.ac.jp	
杉田 正樹	哲学カフェ	「哲学カフェ」をやっています。参加者からその都度問題を出してもらい、それらについてみんなで議論するというものです。調べれば分かるような問題や、専門的な問題ではなく、身近なところで日頃不思議だと思っていることを論じます。人の話をよく聴くこと、よく考えることが条件です。黙っていることももちろんOKです。	基本的に 毎月 第4土曜日	4/28	msugita@kanto-gakuin.ac.jp	

●元客員教授開講ゼミ(つづき)

教員名	ゼミ名	活動内容	開催等	開催日	連絡先	備考
角 洋一	角ゼミ	角ゼミでは、2016年度から明治・大正期を代表する物理学者・随筆家である寺田寅彦の随筆を中心に輪読を実施しているが、2019年度は物理学、特に力学と自然災害、科学と芸術、大学と教育などに関する随筆の時代背景と社会状況を考察しつつその文章化を行う。	基本的に 毎月 第2木曜日	4/11、 5/9、 6/20、7/11	sumi@ynu.ac.jp	所 外 有
種田 保穂	種田ゼミ	生物学に関する話題提供、動物園、博物館等の見学、自然観察会の実施。	月1回程度	4/22	taneda-yasuho-pj@ynu.ac.jp	所 外 有
藤原 一繪	植生研究会	①毎月1回定期的に研究会を開催し学期ごとにまとめの発表会を行う。 ②研究会はフィールドで各自のテーマに基づき観察調査し、自然から学び、新しい発見を探究する。その結果をまとめ、発表する技術を体得する。 ③生物多様性の視点からあらためて植生を観察する。	基本的に 毎月 第2木曜日	4/11	syokus-ei@yakatsu.org	所 外 有

Kーサポートからのお知らせ

○2018年度K-サポート発表会

2019年2月23日(土)午後、毎年度恒例の「Kーサポート発表会」が、学習センター第3講義室で開催されました。学習センターからは福富所長と河内事務長、K-サポートからはサポーター二十数名が出席しました。前半は、各チームから2018年度の実績の報告があり、後半は、学習センターからの助言をふまえた2019年度の活動計画が発表されました。

関連記事としてPAGE9に、全5チームの活動紹介を掲載しております。

補足:「Kーサポート」は、神奈川学習センターや学生、また地域との連携のための支援を行うボランティア組織です。2008年度より、学生や

卒業生の有志がサポーターとして活動に取り組みました。
(事務局)



○学習相談チーム

平成31年度1学期の学習相談は、6月16日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階談話室の相談コーナーで行う予定です。

予約は不要です。放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。

○パソコンサポートチーム

パソコン初心者塾

- ・5月25日(土)13:00～15:30 「通信指導の提出」
- ・6月16日(日)13:00～15:30 「Word&Excel簡単入門1」
- ・7月7日(日)13:00～15:30 「Word&Excel簡単入門2」
- ・8月27日(火)13:00～15:30 「科目登録の提出」

※参加・サポートを受けるには、申し込みが必要です。学習センター1階ロビーKーサポート掲示板下に、用紙とポストがありますので、ご利用ください。

OUJ神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、笹崎、三国
(50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)
垣谷(Kーサポート事務局)
早田(学習センター事務室)

Kーサポート活動紹介

◆ 学習相談チーム

放送大学生の落伍者を減らすためにベテラン学生たちが、面接授業のある土曜日と日曜日の午後に、学習相談会を行なっています。学習上の問題に限っていますが、種々の相談に乗っています。



学習指導ではありませんので教科の内容について教えるよりは、何がわからないかをクリアにする、あるいは学習のヒントを差し上げています。

放送大学内に友人がいない方の雑談相手もしていますので、話し相手のいない方もぜひおいでください。

◆ 機関紙編集チーム

主に、この学習センターだよりの企画、取材、編集を行うチームです。他のチームや学習センター等との連携も多いことから、Kーサポート他チーム・事務局やイベントなどを支援・協力することもあります。

◆ 地域連携チーム

学生と地域の方々が、共に学び交流できる場をめざして活動しています。現在は、毎年秋に学生と地域の方々が参加できるウォーキングを企画・実施



しています。チームメンバーは1年間の事前学習や下見を行いガイド役となり、放送大学生らしいご案内を目指しています。

またウォーキング以外にも、地域の方々と何か活動できることがないかと模索しております。

◆ バス研修チーム

『学習センター利用手引き』P. 42に過去5年間のバス研修旅行先が記載されています。

神奈川学習センターでは年に一度の研修旅行で、もの造りの日本の現場と美術・文化に触れる研修先

を選び、新たな知識を得て心豊かに日々過ごせることを願い実施しています。概ね10月に開催します。



バス研修チームは企画運営のお手伝いをセンターの教職員と連携して進めています。

7月の単位認定試験期間が申込期間になっていますのでご期待ください。予告ポスターで6月頃に予め研修先などをご案内します。

◆ PCサポートチーム

パソコン操作の初心者、具体的にはパソコン経験のない方または放送大学ホームページが利用できない方に対して学生サポーターが「パソコン初心者塾」で支援します。パソコンのない方も神奈川学習センター実習室のパソコンを借用できます。



支援内容は、放送授業の視聴、通信指導の提出、科目登録の提出、過去試験問題の閲覧、図書館活用などです。1学期に6回予定しております。個別支援中心ですので安心して参加可能です。ただし15名の制限(先着順)があります

～～Kーサポート事務局から～～

各チームの企画への応募方法などは、毎号のセンターだよりの「Kーサポートからのお知らせ」や学習センターの掲示板等をご覧ください。また、ご質問などは次にメールをください。



Kーサポート事務局: ksupport@ouj.ac.jp

学生サークルからのお知らせ

○スペイン語研究会

- ★目的:スペイン語日常会話習得とスペイン語圏の歴史・文化を学ぶ会。
- ★活動:月2回(第1・第3木曜日)。第1木曜日;日本人講師による初級。第3木曜日;外国人講師による中級。
- ★会費:月1,000円。
- ★内容:1時限・講師による日常会話習得。2時限・会員又はゲストスピーカーによる研究発表・講演。テーマはスペイン語圏の歴史、文化(映画他)など。
- ★その他:講師・発表者との親睦会。
- ★連絡先:会長・講師 肥後 照雄
電話: 080-2049-3523
メールアドレス: t_higo@cb3.so-net.ne.jp

○放大かながわレク・サークル

- ★サークル活動:放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」
 - ★例会:2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)
 - ★ウォーキング:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。
 - ★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。
- 上記の各種活動はいずれも自由参加。
—会員募集中(随時申込・受付)—
- ★問合せ:島田 義治
Tel 090-3907-8384
E-mail simada.yoshiharu@coral.plala.or.jp

○中国語学習会

中国語圏から訪日観光客は820万を超え、中国語を耳にする機会は多くなっています。中国語は、私たち日本語人にとって漢字を共用しているので学び易い言語です。発音の基礎を学び、リスニングに重点をおいた月2回の学習日(原則第1、第3日曜日)

10時より中級程度クラス「総合力を鍛える中級中国語」白帝社 講師:告旭平先生。

13時より入門から初級クラス「まいにち中国語 2017.4月～9月号、または、2018年10月～2019年3号 NHK出版。講師:陳暁恵先生

二つのクラスとも受講できます。共に発音の基礎固めをし、リスニングに重点をおいて、表現力の向上を目指します。

教室は、学生掲示板のポスター、またはホワイトボードでご確認下さい。

- ★お問い合わせ先:和田充弘
e-mail: snuf.708w@ezweb.ne.jp

○人間学研究会

- ★毎月の例会で卒業研究、旅行経験等のテーマを発表
例会予定 : 13:00～
 - ★5月18日(土) 大岡地区センター(2F)
「横浜市におけるいじめ対策としての
児童支援専任教員について」
 - ★6月8日(土) 学習センター
「添乗員はつらいよ」
 - ★会誌「せせらぎ」29号を発行
 - ★散策・植物園美術館巡り等行事、懇親会
- 会員募集中
- ★お問い合わせ:
大和田克美 oowada-katsumi@u01.gate01.com
佐藤義春 yoshi.l.chie@yd6.so-net.ne.jp

○うえるかむKanagawa

私たちは英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

- ★例会は毎月第2、第4水曜日です。
(試験月等に変更があります。)
- * Benny Class (3クラス) 10:15～12:30
- * English songs 13:15～13:30
- * Group study 13:30～15:30
- ★そのほか、うえるかむ名画座、ゲスト講演会などを開催しています。
- ★問い合わせ 片野真明 090-4714-8260

○ダンスサークル(社交ダンス)

- ★場所:神奈川学習センター第7講義室
- ★曜日:第2・第4火曜日 *第1・第3火曜日自主練習
- ★時間:午後2時～4時 講師:菊島弘明・ユリ子
- ★会費:1か月 1500円
- ★活動内容:社交ダンス(モダン、ラテン)の学習(ダンスパーティーで踊れるレベルに)
ダンスはスポーツです。健康増進(特に、姿勢が良くなる)、ストレス解消に、楽しく踊りませんか!! 人生がより明るくなります。不定期ですが、1泊での実習旅行も実施しています。初めての方も楽しく踊っています(初心者、歓迎!)
- また、全科履修生の方は30時間のレッスンで、体育実技1単位を取得できます。
- ★連絡先:中村 健 tarumakan0904n@gmail.com

○神奈川放友会

豊かで実りある学生生活を共有することを目的に「学び」と「触れ合い」を柱とする幅広い活動を展開し150余名の会員がいるサークルです。

★学びの場の活動

- ・パソコン勉強会:6月5日(水)
神奈川学習センター実習室
- ・例会:6月9日(日)
神奈川学習センター第9講義室

★触れ合いの場の活動

- ・歌舞伎鑑賞会:6月16日(日)国立劇場
- ・クラシックを楽しむ会:
7月1日(月)みなとみらい小ホール

★毎月の活動

- ・俳句の会、書に遊ぶ会、女性の会、詩游会、音楽部

★問合せ:吉岡 淳 info@kanagawa-hoyukai.jp

○資格取得研究会

看護・福祉分野のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。各種資格(心理系含む)の取得と放送大卒業を目的とする方が多い。内容は、情報交換が中心。例会予定は次の通り

- ・5月18日(土)10:30～ 学生団体室
- ・6月29日(土)10:30～ (予定)
- ・7月13日(土)10:30～ (予定)

★会費:¥500(1年間)

★ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

★お問い合わせ…080-5546-7913(はこざき)

○韓国語同好会

★前期 月例会予定日 土曜日

5/25、6/1,21、7/6、8/3,24

- ① 10:00～11:30 中級クラス
- ② 11:30～12:00 ミーティング(全員)
- ③ 12:00～13:30 初級クラス
- ④ 13:45～14:45 自主学習

短編小説 ソナギ(にわか雨)

★講師 李明淑(イ・ミョンスク)先生

★初めての方へのサポートを強化しました。

★入会随時、見学大歓迎です。

★会費 1ヶ月2,000円 3か月前納

★問合せ 神奈川サークル協議会ホームページ。

<http://kcc-ouj.net/dantai/hanguo/>

tsuyukimt@gmail.com(代表:露木)

○神奈川合唱団

★合唱を愛好する皆さんと共に「学び」と「合唱」で学生生活を楽しむサークルです。

現在30有余名の会員がおります。

★学位記授与式(NHKホール)では、全国の合唱愛好の皆さんと「学歌」、ベートーヴェンの「第九」第4楽章を歌い卒業生、修了生のお祝いしました。

現在は、「学歌」、「愛燦燦」「川の流れるように」を合唱曲として練習しております。

★合唱指導は、バリトン歌手でオペラに出演している清水一成先生をお招きし、練習に取り組んでおります。

★場所:大岡地区センター音楽室(2階)

★日時:毎月 第1・第3水曜日18:00～20:30

★連絡先:馬場信一 s-baba820@leaf.ocn.ne.jp

神奈川同窓会だより

神奈川同窓会は、放送大学に学んだ「誇り」を共有し「母校意識」をもって大学のために、また、「プランインターナショナルジャパン」や「あしなが育英会」を通じて寄付金を集めるなど、社会貢献活動を進めています。毎月行う「弘明寺サロン」や「卒業・修了祝賀茶話会」、フェスタでの「お抹茶」と「ホームカミングデー」の開催しています。

また、開催間近の行事があります。5月16日(木)15:00から、通常総会特別講演として、第8講義室にて高橋邦年客員教授の「have a speak って何が変？」を開催いたします。同窓会会員以外の方でも聴講できますので、是非ご来場ください。

神奈川同窓会の最新情報は、インターネットでご覧いただけます。

ウェブサイト: <http://hatoh.net/>

「放送大学神奈川同窓会」で検索ください。



神奈川学習センターからのお知らせ

● 2019年度第1学期面接授業追加登録受付中！

今年度第1学期に神奈川学習センターで行われる面接授業で、現時点で空席のある科目については、4月19日(金)より追加登録受付中です(追加登録受付期間は科目ごとに異なります)。先着順、定員になり次第締め切らせていただきますので、ご希望の方はお早めにお手続きください。

【申請方法】

- ①空席のある科目を確認(システムWAKABA、1階ロビーの掲示板で確認できます。)
- ②「面接授業科目追加登録申請書」を窓口へ提出してください。
- ③窓口で申請書を提出の際、学生証を提示してください。
- ④授業料(1科目)5,500円を現金でお支払いください。

※ 郵送申請も受付けています。ご不明な点は学習センターまでお問合せください。

● 2019年度 看護・司書教諭に関する夏季集中科目の出願

《看護》 2019年5月1日(水) ～ 5月31日(金)〈郵送私書箱必着〉
2019年5月7日(火)9:00 ～ 6月3日(月)17:00〈Web申請〉

《司書教諭》 2019年5月1日(水) ～ 6月7日(金)〈郵送のみ、私書箱必着〉

※ 詳細は放送大学ホームページをご確認ください

● 2020年度履修者向け卒業研究履修ガイダンス

下記日程でガイダンスを実施します。2020年度に卒業研究の履修を希望される全科履修生は、事務室窓口又は電話でお申し込みください。

日時： 2019年6月30日(日) 13:15～14:45

場所： 第8講義室

● 単位認定試験期間（学生生活の葉を熟読のこと）

〈学部〉 2019年7月21日(日) ～ 2019年7月28日(日)(22日(月)と26日(金)を除く)

〈大学院〉 2019年7月19日(金) ～ 2019年7月20日(土)

〈留意事項〉

7月12日(金)までに受験票が未着の場合は放送大学本部(千葉)の総合受付(043-276-5111)まで連絡してください。

● 当センターの2階ホールに新しくエアコンが設置されました

3月よりエアコンが設置されましたので、夏は涼しく、冬は暖かくご利用になれます。

● 第1学期通信指導の提出期間等（学生生活の葉を熟読のこと）

《郵送提出》 2019年5月21日(火) ～ 6月4日(火) 放送大学本部必着

《Web提出》 2019年5月14日(火)10:00 ～ 6月4日(火) 17:00まで

〈添削結果返送時期〉 2019年6月末～7月上旬

以下の期限までに添削結果が届かない場合は、本部(受験票と同様)まで連絡してください。

①択一式科目・併用式科目の択一部分： 2019年7月8日

②択一式科目・併用式科目の択一部分： 2019年7月19日

※ 未提出及び期限外に到達した場合は単位認定試験を受験できません。

お問い合わせ： 放送大学神奈川学習センター
電話 045(710)1910 (月曜日・祝日等を除く、9:10～17:40)